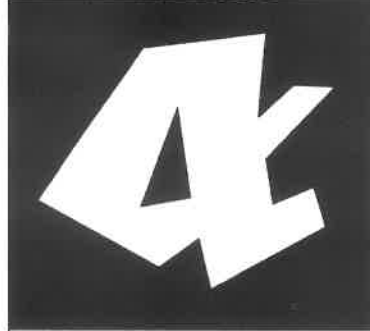






豊島公民分館だより

第60号

2025年3月吉日発行

発行
豊島公民分館
広報部

発行責任者
豊島公民分館
分館長

みなさまに感謝



日頃より分館活動に御協力いただき誠にありがとうございます。
今までの活動を少し紹介させていただきます。
秋には「健康フラ」講座を開催、市民体育祭では残念ながら雨となり体育館で行いましたが、多くの方に参加いただき大盛況のうちに終えることができました。
「てしまフェス」では子どもたちにもスポットを当て、子どもたちの絵やクラブ活動を紹介しました。また誰でも気軽に参加できるニュースポーツを楽しんでいただきました。
冬には社会見学として、バスをチャーターし京都の防災センターを見学。震度7の地震体験では30年前の阪神淡路大震災を思い出しました。参加者からは改めて地震への備えの大切さを学ぶことが出来たと言っていました。
これからも様々な形で地域のみなさまに参加いただける場を提供し、交流や連携を深めていただきたいと思います。公民分館活動への参加よろしくお願いいたします。

豊島公民分館 分館長 田中和恵

豊島小学校 校長 長岡 裕子



いつも本校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。
本年度、豊島小学校に赴任いたしました長岡 裕子です。よろしくお願いします。
公民分館の皆様には、本年度も子どもたちの作品を飾る機会をいただきました。地域の活動にもご賛同いただきご支援を賜り、長く協力体制が続いております。
コロナ禍では、豊島校区の公民分館の活動も制限されたと伺っております。学校も同様の状態でしたが、少しずつ元の活動の形態に戻ってきています。すべてを元の状態に戻すことは難しいですが、学校も工夫しながら、教育活動を進めてまいります。また、常々たくさんの方々のご支援・ご協力の上に学校の教育活動も活発に進んでいると感じています。地域の行事に子どもたちも参画させていただき、PTAの皆様とも連携しながら令和の今の時代に合った活動をしていきたいと考えています。
今後も公民分館の皆様の活動が地域や学校の活性化につながるように、ご支援ご協力をお願いします。

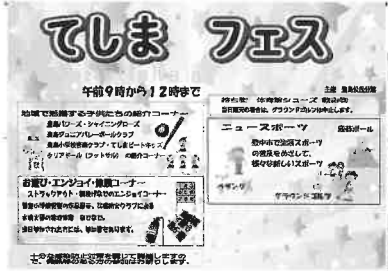
豊島小学校 教頭 野阪 直可



公民分館の皆様にはいつも学校教育活動をご支援いただきありがとうございます。
早いもので私が豊島小学校に教頭として赴任して4年になります。思い返せば、4年前はコロナ禍の真っ最中で、みんなマスクで顔の大部分を覆い、距離をとって会話をしていました。そのような状況の中でも、公民分館の皆様には何か学校にできることはないかと考えていただきました。また、新任教頭で何もわかっていない私に親切丁寧に接していただきました。皆様のあたたかい心にずっと支えられてきたことに感謝しております。

そして、コロナ禍が明け、様々な行事が復活しました。行事に参加する子どもたちの笑顔を見ることができて私たちも嬉しく思いました。
学校は昨年に150周年を迎えました。豊島小学校がこの地に建てられたのも地域の方々のご尽力によるものと聞いています。
これからも、子どもたちのために学校と地域が連携していきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

てしまフェス 開催



スポーツの体験コーナー、ストラックアウトコーナーなどなど、色とりどりの展示。

11月10日(日)恒例のてしまフェスが開催されました。

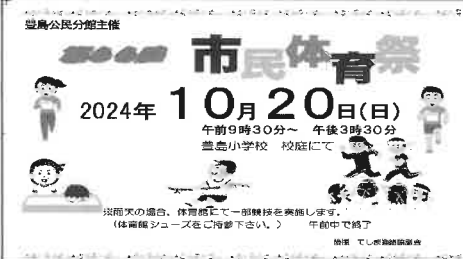
豊島小の児童の作品の展示、各地域スポーツグループの紹介コーナー、ニュー



また、女性防火クラブによる、防災ずきんの作成コーナーもあり、もしもの備えとして作成されていました。

市民体育祭 開催

10月20日は、第66回市民体育祭が開かれました。あいにくの雨模様で、体育館内で、障害物競走、宅配りレー、パン食い競争、デカパン競争などの種目を行いました。
室内ながら、白熱した攻防で、けがをしないか心配しながら応援していました。
みなさん心地よい汗をかかれ、最後には、お楽しみ抽選を楽しみました。



人権教育講座

2月18日(火) 午後6時より人権教育講座が開かれ、「いじめ防止」をテーマにDVD視聴後、人権協委員の中川博史さんの講演をお聞きしました。

映像教材を視聴し、SNSが子どもたちに日常のツールとして使用されている現代で、閉ざされた空間で起こるいじめの問題について考えました。

大人たちから見えないところで起こっている事で、仲間はずれなどのいじめにつながるケースなど、多いようで、子どもとのコミュニケーションの必要性等に気づかされました。

今回もPTAと共催で行われ、保護者の関心も高く感じられました。



社会見学 京都市市民防災センター

コロナの為、ここ数年開催されていなかった、社会見学が12月8日(日)に開催されました。

地域ぐるみの自主防災体制を作るための体験施設の充実した、京都市市民防災センターを見学、地震体験や、4Dシアターでの、地下街の恐怖や水圧扉等を体験しました。

がんこ高瀬川二条苑での昼食を堪能し、紅葉で目を癒やしました。

生憎の雨で錦市場は散策できませんでしたが、土産物屋さんに立ち寄り、充実した見学でした



豊中市公民分館協議会 主催 交流大会・中部ブロックスポーツ大会

左は6月16日に行われた中部ブロックスポーツ大会の、ニュースポーツ大会の様子、準備体操とピロポロの競技。

右は、2月15日にアクアホールで開かれた、交流大会の開会式の模様です。この後各ブロックの報告と、交流会が開かれました。



秋の講座 健康フラ



9月3日から毎週3回、健康フラの講座が開かれました。姿勢を整えながら、楽しく、フラダンスを学びました

ソフトバレー大会

分館体育部主催のソフトバレー大会が2月2日、開かれました。

20数名の選手が参加、計8チームでの大会となり、ゆりチームが優勝しました。



「豊島小学校が廃校に」統廃合に関する計画スケジュールは『撤廃』されました。

この件は、豊島公民分館だより(第59号2024年3月発行)にて、地域保護者の小中学校教育問題、地域住民の生活環境問題、地域コミュニティの高齢化と衰退問題、地域対応策など詳細に報告させていただきました。

今回の「小曾根小学校・豊島小学校の統廃合と義務教育校開校計画スケジュール」については、地域の要望や実情も無視し、豊中市教育委員会の主導で進められておりました。

このスケジュール内容について、両小学校区の地域は当初より大問題と認識し、豊島地域は「てしま連絡協議会」の西田会長を中心に、地域選出の豊中市議員さんとも連携協力し絶対反対の立場で、市教委に対して要望書や抗議の会議を重ねた結果、「計画スケジュールは撤廃する、今後は事前に保護者や地域の意見等を参考に新たな案を検討する」、と豊中市教育長より令和6年(2024年)7月26日付の文章にて回答がありました。

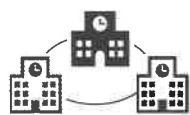
今後については、右記内容が豊中市ホームページにて公開されておりますが、何時どのような方向性になるか明確に判断できません。

少子化など時代の変化で小中一貫教育を否定するものではありませんが、今後、豊中市教育委員会は、強引な小中一貫教育推進のスケジュールを進めることも十分考えられます。

豊島小学校は地域の宝でありコミュニティの中心となります。これからも、皆さま方の連携とご協力よろしくお願いいたします。

義務教育学校 庄内さくら学園

- ・豊中市初の義務教育学校としてR5年度、旧庄内 小・六中跡地等に開校
- ・独自カリキュラムSDG(庄内大好き元気)の取組み
- ・さくら応援団の充実
- ・庄内コラボとの連携



- ・2校に共通する『めざす子ども像』実現に向け、特色ある教育活動で、自尊感情や自己肯定感・自己有用感・非認知能力を伸ばす特色あるカリキュラムを編成
- ・3ステージ制*を導入し、9年間の接続をなめらかに

*学年段階を「4年・3年・2年」の3段階に区切り、各段階ごとに教育活動の工夫・充実を図っています。

義務教育学校 庄内よつば学園

- ・義務教育学校としてR8年度、旧千成小・せんなりこども園跡地に開校予定
- ・めざす学校像は、「つながりを大切に、自ら学び未来をつくる学校」
- ・標準服や校章は子どもの意見を聞き検討中



【豊中市における小中一貫教育推進のスケジュール】

	R5	R6	R7	R8
庄内さくら学園	義務教育学校開校			
庄内よつば学園	校区グランドデザインの作成(庄内南小・千成小同様に)子どもの実態の共有	開校に向けた連携体制づくり等		義務教育学校開校
第8中学校区		校区グランドデザインの作成	開校に向けた連携体制づくり等	小中一貫型小中学校(学園制)開校
上記3校区以外の校区	準備期	導入期	推進期	充実期

- ・R6年度は、各分科会に分かれて小中一貫の体制づくり
- ・千里みらい夢学園(施設分離型小中一貫教育校)の学園長を招聘し合同研修を開催
- ・「探究学習」をテーマにカリキュラムづくりを検討を開始
- ・小中一貫校としての名前(学園名)を検討

小中一貫型小中学校(学園制)
第8中学校区
(第8中・北丘小・東丘小)

- ・R6年度は、各校の小中一貫教育担当者は校内状況をふまえて首席または指導教諭が担うこととし、管理職とともに校内の研究・実践をコーディネート
- ・小中連携会議・合同研修などでさまざまなテーマで話し合いを重ね、小中・小中の連携を深める
- ・各校区での特色ある学校づくりやカリキュラム・マネジメントの推進

3校区以外の中学校区